

『たすけ』の気まぐれコラム（第七回）

こんにちは『たすけ』です。今回は玄関リフォームのお話です。

玄関のリフォーム動機は、「ボロボロになった」「動かなくなった」「錠が壊れた」などの理由が多く、どちらかというと**営繕・メンテナンスの延長上**にありました。

昨今は**省エネや結露防止の観点から『断熱タイプ』の玄関へリフォーム**することが増えてきています。

玄関をリフォームするには既存のドア枠や引戸枠を取り外す必要がありますが、これが結構ネックとなります。サッシを含めて開口部は壁の中に取付してあり、**取り外すには『内外装』を壊す必要がある**からです。玄関の場合は、さらに床部分まで取り壊す事になり、大仕事になってしまいます。

したがって、**ドア・引戸本体工事に加え、大工・左官・内装・タイルなどの工事**（付帯工事と言います）**が必要**となる為、本体工事の3倍以上の費用がかかり、工事期間も数日から1週間程度かかります。その間は玄関に施錠できませんから無用心この上なく、費用の問題とともども玄関リフォームが好まれない理由となっています。

そこで**注目されるのが、玄関のカバー工法**です。これは、既存枠をそのまま残し、その内側に一回り小さな新規枠を設置するもので、床・壁を壊すことがないことから、**短工期（ほぼ1日）、したがって低予算で行なえる**玄関リフォームです。既存枠との取り合いは「化粧カバー」で隠されますので、仕上がりもとてもきれいです。既に40年程前からある商品なのですが、普及し始まったのは、**商材が充実したここ10年ほど**です。その為、**認知度もまだまだ低く、外装をきれいにしたのに玄関がみすぼらしい**というお宅は枚挙に暇がありません。

2019年10月から消費税が引き上げられますが、国交省では『次世代住宅ポイント制度』という補助制度が開始され、一新助家でもお得なキャンペーンが行われますので、この機会に検討してみてもいかがでしょうか。

今回は空気環境のお話です。お楽しみに。

NOVARIS

ノバリス リフォーム玄関ドア

たった1日で
綺麗な仕上がりへ

